2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　乾汽船株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9308　　ＵＲＬ　https://www.inui.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）乾　康之
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）一井　聡　　ＴＥＬ　03-5548-8613
半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	22,099	40.8	3,098	－	2,859	－	1,941	－
2026年３月期中間期	15,692	△6.0	△71	－	△132	－	△9	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　3,185百万円（506.0%）　2026年３月期中間期　525百万円（△83.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	77.07	－
2026年３月期中間期	△0.37	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	80,858	40,474	50.1	1,605.20
2026年３月期	78,698	37,415	47.5	1,485.83

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　40,474百万円　2026年３月期　37,415百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	3.00	－	6.93	9.93
2027年３月期	－	6.00			
2027年３月期（予想）			－	51.05	57.05

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,462	38.1	7,324	239.3	6,753	245.1	4,456	434.8	176.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	26,072,960株	2026年３月期	26,072,960株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	858,215株	2026年３月期	891,492株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	25,193,996株	2026年３月期中間期	25,150,647株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年11月20日（金）に、機関投資家向けのオンライン決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明会内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるハンディ船市況の上昇や為替の影響等により、売上高は前年同期比6,406百万円増収（＋40.8％）の22,099百万円、営業利益は前年同期比3,170百万円増益の3,098百万円、経常利益は前年同期比2,992百万円増益の2,859百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1,951百万円増益の1,941百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業（ロジスティクス）

外航海運事業におけるハンディ船市況は、堅調な貨物需要に加え、中東情勢緊迫の長期化に伴うトンマイルの増加や燃料油価格上昇に伴う減速航海の進展等を背景に、前年同期を上回る水準で推移しました。

なお、当中間連結会計期間における当社グループの平均為替レートは￥160.18/対US＄（前年同期は￥146.05）となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比6,427百万円増収（＋54.8％）の18,160百万円、セグメント利益は前年同期比3,111百万円増益の2,336百万円となりました。

②倉庫・運送事業（ロジスティクス）

物流業界におきましては、貨物保管残高及び貨物取扱量は底堅く推移しました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、一般倉庫における取扱高が増加した一方、連結子会社の引越業における取扱高が減少したことから、売上高は前年同期比26百万円減収（△1.3％）の1,963百万円、セグメント利益は一般倉庫における取扱高の増加等により前年同期比14百万円増益（＋7.5％）の207百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、空室率が低位で推移するとともに、新築ビルの高い稼働状況やテナントの増床需要などを背景に、堅調な状況が続きました。また、東京23区の賃貸マンション市況も引き続き堅調に推移しました。

当社グループが賃貸物件を所有する月島・勝どきエリアでは、再開発の進展や都心への近接性を背景に、堅調な賃貸需要が続きました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、プラザタワー勝どきが高い稼働率を維持していること等により、売上高は前年同期比５百万円増収（＋0.3％）の1,976百万円、セグメント利益は前年同期比52百万円増益（＋5.3％）の1,040百万円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金や投資有価証券の増加、有形固定資産の減少等により前連結会計年度末比2,159百万円増の80,858百万円となりました。負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末比899百万円減の40,383百万円となりました。純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末比3,059百万円増の40,474百万円となりました。

この結果、自己資本比率は47.5％から50.1％になりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して596百万円増加し、19,332百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動の結果として獲得した資金は、3,200百万円（前年同期比74.4％増）となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益2,859百万円、減価償却費2,063百万円、仕入債務の減少額767百万円、貯蔵品の増加額679百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動の結果として使用した資金は、1,431百万円（前年同期比65.7％減）となりました。これは主として、定期預金の預入による支出1,000百万円、固定資産の取得による支出455百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動の結果として使用した資金は、959百万円（前年同期は313百万円の資金の獲得）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出772百万円、配当金の支払額187百万円等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2027年３月期）の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2026年８月７日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2027年３月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当中間連結会計期間実績 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	第３～４四半期前提 （自　2026年10月１日 至　2027年３月31日）
為替レート（円／１米ドル）	１６０．１８	１５８．００
燃料油価格（米ドル／ＭＴ）	７２３．９５	１，００６．８８

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,184	20,788
営業未収金及び契約資産	1,546	1,686
有価証券	500	500
繰延及び前払費用	907	727
貯蔵品	1,773	2,453
その他	3,106	2,881
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,018	29,036
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	29,504	27,839
建物及び構築物（純額）	8,373	8,167
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物（純額）	3,026	2,957
信託土地	204	204
建設仮勘定	56	249
その他（純額）	506	478
有形固定資産合計	42,805	41,030
無形固定資産	74	64
投資その他の資産		
投資有価証券	6,981	8,962
長期貸付金	1,204	1,155
その他	623	618
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	8,800	10,727
固定資産合計	51,680	51,821
資産合計	78,698	80,858

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,053	2,278
短期借入金	2,710	2,710
１年内返済予定の長期借入金	7,222	8,523
未払法人税等	427	840
契約負債	513	466
賞与引当金	94	98
その他	523	330
流動負債合計	14,544	15,247
固定負債		
長期借入金	22,072	19,838
繰延税金負債	1,324	1,997
退職給付に係る負債	81	87
受入保証金	1,428	1,386
特別修繕引当金	610	606
その他	1,220	1,220
固定負債合計	26,738	25,136
負債合計	41,283	40,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,685	11,701
利益剰余金	20,349	22,116
自己株式	△872	△839
株主資本合計	33,931	35,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,222	4,587
繰延ヘッジ損益	261	140
その他の包括利益累計額合計	3,484	4,728
純資産合計	37,415	40,474
負債純資産合計	78,698	80,858

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	15,692	22,099
売上原価	14,999	18,198
売上総利益	693	3,901
販売費及び一般管理費	765	802
営業利益又は営業損失（△）	△71	3,098
営業外収益		
受取利息	119	134
受取配当金	86	115
為替差益	91	―
その他	43	25
営業外収益合計	340	276
営業外費用		
支払利息	349	396
為替差損	―	114
その他	51	4
営業外費用合計	401	515
経常利益又は経常損失（△）	△132	2,859
特別利益		
固定資産売却益	0	―
特別利益合計	0	―
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△132	2,859
法人税、住民税及び事業税	8	805
法人税等調整額	△131	112
法人税等合計	△123	917
中間純利益又は中間純損失（△）	△9	1,941
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△9	1,941

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△9	1,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	593	1,364
繰延ヘッジ損益	△58	△120
その他の包括利益合計	535	1,243
中間包括利益	525	3,185
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	525	3,185
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△132	2,859
減価償却費	1,929	2,063
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2	5
賞与引当金の増減額（△は減少）	7	4
特別修繕引当金の増減額（△は減少）	19	△3
受取利息及び受取配当金	△205	△250
支払利息	349	396
為替差損益（△は益）	△8	75
固定資産売却損益（△は益）	△0	－
売上債権の増減額（△は増加）	355	166
契約資産の増減額（△は増加）	109	△307
繰延及び前払費用の増減額（△は増加）	149	246
貯蔵品の増減額（△は増加）	△136	△679
仕入債務の増減額（△は減少）	△310	△767
契約負債の増減額（△は減少）	290	△47
未払費用の増減額（△は減少）	△37	△37
未払又は未収消費税等の増減額	59	58
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	27	△42
仮払金の増減額（△は増加）	104	78
その他	△103	△0
小計	2,471	3,818
利息及び配当金の受取額	202	246
利息の支払額	△401	△410
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△437	△454
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,835	3,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△1,000
固定資産の取得による支出	△3,683	△455
固定資産の売却による収入	0	－
有価証券の取得による支出	△500	△1,000
有価証券の償還による収入	－	1,000
その他	4	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,179	△1,431
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,804	－
長期借入金の返済による支出	△712	△772
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,777	△187
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	313	△959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39	△212
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,070	596
現金及び現金同等物の期首残高	18,652	18,735
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,582	19,332

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	ロジスティクス		不動産事業	計		
	外航海運事業	倉庫・運送事業				
売上高						
外部顧客への売上高	11,732	1,989	1,970	15,692	－	15,692
セグメント間の売上高又は振替高	－	4	15	20	△20	－
計	11,732	1,994	1,986	15,713	△20	15,692
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△775	193	987	405	△477	△71

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額△477百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△477百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	ロジスティクス		不動産事業	計		
	外航海運事業	倉庫・運送事業				
売上高						
外部顧客への売上高	18,160	1,963	1,976	22,099	－	22,099
セグメント間の売上高又は振替高	－	－	15	15	△15	－
計	18,160	1,963	1,991	22,114	△15	22,099
セグメント利益	2,336	207	1,040	3,583	△485	3,098

（注）１．セグメント利益の調整額△485百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△485百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。